

## 細胞医療・遺伝子治療のイノベーション創出に向けて 米国ボストンエリアのインキュベーションラボに投資

- LabCentral 運営のラボに 1,300 万ドル拠出 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、次世代のバイオテクノロジー関連スタートアップ企業のための最先端の研究施設である LabCentral(米国)が運営する2つのインキュベーションラボに総額約 1,300 万ドルを拠出します。アステラス製薬は、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において、細胞医療や遺伝子治療などの革新的な治療法を創出するため、マサチューセッツ州内においてライフサイエンス分野へこれまでに 10 億ドル以上の投資を決定してきました。このたびの投資は、ボストンエリアにおけるイノベーション創出に向けた取り組みをさらに加速させるものと考えます。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO の安川 健司は、「アステラス製薬は、最先端の科学を患者さんの価値に変えるために、世界レベルの英知が集うボストンエリアのライフサイエンス・エコシステムに長年にわたり深く関わってきました。マサチューセッツ州内のボストンエリアにある私たちの中核拠点では、複数の施設で 200 名以上の研究者が従事し、再生医療、がん免疫、ミトコンドリア機能、遺伝子編集などの分野においてイノベーションの創出に取り組んでいます。アステラス製薬は、早期ステージにおいて細胞医療や遺伝子治療などのイノベーションを加速させることを戦略目標としており、これは最先端のバイオテクノロジーおよびライフサイエンス分野のスタートアップ企業支援をミッションとする LabCentral の考えとも合致しています」と述べています。

アステラス製薬は、LabCentral がマサチューセッツ州内に建設中の、製造プロセス開発や試作品製造を可能とする新しいインキュベーションラボに 1,250 万ドルを拠出し、同ラボにおける設立スポンサー5 社のうち、唯一の製薬/バイオテクノロジー企業となります。Massachusetts Life Sciences Center が支援する LabCentral と契約を締結し、同州の Karyn Polito 知事出席のもと、10 月 1 日に同ラボ設立発表会が行われました。新しいインキュベーションラボは 2021 年に稼働する予定で、この投資によりアンメットメディカルニー

ズが高い疾患領域でイノベーションの創出を目指すスタートアップ企業や起業家の支援を行います。

さらに、アステラス製薬は、マサチューセッツ州内で LabCentral が現在運営している他のインキュベーションラボのゴールドスポンサーとして、3年間で少なくとも45万ドルを拠出することを決定しています。

これらのインキュベーションラボの支援を通じて、当社のフォーカス領域において、先進的なスタートアップ企業により創出されるイノベーションへのアクセスが可能になります。

アステラス製薬は2010年以降、マサチューセッツ州の Ocata Therapeutics, Inc.をはじめ、Mitobridge, Inc.、Potenza Therapeutics, Inc.の買収を通じたイノベーションの獲得や、同州内に本社を置く再生・細胞医療の研究開発拠点であるアステラス インスティテュート フォー リジェネレイティブ メディシン (Astellas Institute for Regenerative Medicine、以下「AIRM」)のリノベーションで、総額8億ドル以上を投じ、今後、5億ドル以上を追加で拠出する予定です。なお、AIRMの新施設は、2020年の完成を予定しており、再生・細胞医療分野における研究開発をさらに加速していきます。

本件によるアステラス製薬の2020年3月期連結業績への影響は軽微です。

なお、本件については、米国において現地時間10月1日に对外発表しています。

以上

#### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

**お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473